

地域活性化のため

(株)石川酒造場(仲松政治代表取締役社長)から、8月21日に西原町人材育成会、西原町行政区自治会長会、西原町社会福祉協議会、西原町老人クラブ連合会、西原町青年協議会に対し、寄付金(総額35万円)の贈呈がありました。仲松社長は「西原町の地域活性化に役立ててください」とあいさつをしました。



仲松社長(右から3番目)

食事について学んだよ



フードモデルを選ぶようす

調理実習のようす

小学校5、6年生を対象に食育ワークショップが8月18日(保健センター)、19日(栄養指導室)に行われました。1日目はS.A.Tシステム(フードモデルを選んで、食事バランスが分かるシステム)を使い、2日目は調理実習をとおして食事バランスを学びました。体験した子どもたちから「食事バランスをとるのが難しかった。少ない栄養分を多くしようとしたら、他の栄養分が増えてしまった」、「食材の栄養分について学ぶことができて良かった」などの感想がありました。

歴史をひもとく

尚円王生誕600年記念事業の一環として、内間御殿での学習会が8月30日に開催され、約60人が参加しました。講師の山田浩久さん(西原町教育委員会)から、東江御殿の屋敷囲いは元々竹垣であったが、宝枕が盗難にあったのをきつかけとして管理強化するため石垣に作り替えたなどの説明がありました。また、内間御殿で発見された青磁や白磁、先王旧宅碑の欠片などを見る場もありました。参加者は石垣の形状を質問したりと、内間御殿の歴史にふれていました。



説明を聞くようす

栄光をつかむ



西里夏子さん(左から3番目)

全国高校総合体育大会「君が創る近畿総体」(8月、大阪府)で西里夏子さん(沖繩尚学高3年)が県勢20年振りにテニス女子ダブルスで見事優勝を飾りました。西里さんは「1、2回戦は納得いく状態ではなかった。ダブルスは2人の力を合わせて勝利をつかむもので、接戦だった準決勝を乗り越え、決勝では120%の力を発揮することができた」と大会を振り返りました。上間明町長は「日頃からの精神力、身体力の鍛錬の積み重ねでつかんだ栄光だと思います」と優勝を称えました。

速くなったかな☆



熱心に指導する譜久里さん(写真後方)

西原町かけっこ教室が8月5日、8日、22日に西原町民陸上競技場で行われました。講師には、今年8月の世界マスターズ陸上競技選手権大会の4×100mリレー(40〜44歳の部門で優勝した譜久里武さんが務めました。約40名の小学生が参加し、手の振りや足の上げ方など速く走る方法を学んでいました。また、譜久里さんが持ってきた世界マスターズ陸上の金メダルに、子どもたちはとても興奮していました。教室に参加した島袋晴之くん(西原東小3年)は「本物の金メダルをさわることが嬉しい」と感想を述べました。

自主防災力を高める

赤十字防災体験バスツアーが、8月20日に日本赤十字社沖繩県支部で実施され、自治会長をはじめ15名が参加しました。出血した際の止血方法や炊飯袋を使用しての米の炊き出しを体験、また救護倉庫にある衣類や毛布などの支援物資を見学しました。

新田宗信自治会長は「地域の安全、安心は自分たちで守る必要があります。今日体験したことを地域に持ち帰りましょう」と感想を述べていました。



止血を学ぶようす



支援物資の説明を聞くようす



小麦粉を混ぜるようす

おいしく作れたかな?

親子で学ぶ料理講習会(主催..西原町生活研究会)が8月18日に西原中央公民館の調理室で行われました。20名の子どもを含む52名が参加し、かぼちゃサラダやピーマンの肉詰め、アガラサーなどを作りました。

ピーマンの肉詰めでは、子どもたちが大人の力も借りながら練った肉を、半分に切ったピーマンにたつぷりと詰めました。また、アガラサー作りでは砂糖や水を混ぜた小麦粉を、美味しいお菓子になることを願いながら、楽しそうに力を合わせて混ぜるようすがありました。

プロゴルファー、誕生

小宮満莉花さん(西原町出身)が7月に実施された2015年度LPGA最終プロテストに見事合格し、西原町で2人目の女子プロゴルファーとなりました。

18歳で上京し、働きながらプロテストに挑んできた小宮さんは「今回を最後の挑戦と考えていました。女子ゴルフの開幕戦であるダイキンオーキッドレディスへの出場を目指し、今後も練習を頑張ります」とプロテストの感想と今後の抱負を述べました。上間明町長は「プロの世界でも結果を出せるよう頑張ってください」と激励の言葉をかけました。



小宮満莉花さん(左から3番目)

ダブル金賞!心を1つに九州でも!



赤嶺日菜さん(前列右から4番目)、根間美空さん(前列右から2番目)

第55回沖繩県合唱コンクール大会(7月12日、てだこホール)に中頭地区を代表して出場した西原小学校と坂田小学校の吹奏楽部がともに金賞を受賞しました。

九州合唱コンクールへ出場する両校へ上間明町長は「九州でも金賞を受賞できるように期待しています」と称えました。根間美空さん(西小6年)と赤嶺日菜さん(坂田小6年)は「九州でも心をひとつに合わせ、もつとすごい演奏をして、金賞目指して頑張りたい」と九州大会への抱負を述べました。

好記録、連発!



競い合う選手たち

9月5日、6日の2日間にわたって、「第36回西原町陸上競技大会」が西原町民陸上競技場で開催されました。22行政区から多くの選手が出場し、各種目で熱い勝負が繰り広げられました。一般男子の走り高跳びの部門に出場した津波大樹くん(上原チーム)は、これまでの町記録を23cm更新、一般女子の100mと200mの部門に出場した山本菜月さんは、33年振りに町記録を更新し、大会を大いに盛り上げました。2日間に及ぶ競技の結果、男子は柵原チーム、女子は上原チーム、総合では柵原チームが優勝を飾りました。